

平成21年度の決算が、昨年12月の第4回市議会定例会で認定されましたので、その内容について、お知らせします。

グラフ1 は、一般会計歳入（収入）についての状況です。市民の皆さんが負担する市税などの自主財源は、46億6千2百万円（28.8%）、国や道からの補助金や地方交付税、市債などの依存財源は、115億1千8百万円（71.2%）となりました。自主財源の占める比率が大きいくほど財政基盤が安定しているといわれていますが、紋別市は前述のとおり28.8%と低い割合となっています。

グラフ2 は、歳出（支出）を行政目的別に、分類したものです。歳出はその性質によって、義務的経費（人件費・扶助費・公債費など収入状況に応じて任意に削減できない経費）と任意的経費に分類されます。歳出に占める義務的経費の比率が大きくなると財政の硬直度高まるといわれています。紋別市は46.1%となっています。

歳入歳出の差引額は、3億2千7百万円で、そのうち

平成22年度に繰り越した事業に充てる財源1千8百万円を除くと、実質的な黒字は3億9百万円となりました。この剰余金は、法律の規定により、1億5千5百万円を財政調整基金に積み立て、残りは、平成22年度補正予算の財源として処分します。

表1 は、紋別市が設置している特別会計の決算状況です。特別会計は、特定の事業を行う場合、特定の歳入をもって歳出に充て、一般会計と区別して経理する必要があります。平成21年度末で、紋別市は10会計を設置しています。

表2 は、平成22年3月末の市債現在高の状況です。市債は、財源を調達する手段のほか、長期にわたり使用する社会資本の世代間負担の調整という役割も持っています。市債残高約256億円のうち、市営住宅使用料などの償還のための収入や、地方交付税による元利償還金の算入などが、180億円程度見込まれており、市民の皆さんの税による実質的な負担は、76億円程度となります。

表1 平成21年度特別会計決算状況

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	28億4,638万円	28億813万円	3,825万円
港湾埋立事業	1億1,144万円	2億3,541万円	▲1億2,397万円
簡易水道事業	4,086万円	4,086万円	
交通災害共済事業	410万円	410万円	
土地取得事業	1億1,459万円	1億1,459万円	
老人保健事業	7,598万円	3,879万円	3,719万円
営農飲雑用水道事業	3,629万円	3,087万円	542万円
介護保険事業	13億1,566万円	13億1,043万円	523万円
介護老人福祉事業	2億6,209万円	2億6,209万円	
後期高齢者医療事業	2億5,453万円	2億5,381万円	72万円
合 計	50億6,192万円	50億9,908万円	▲3,716万円

表2 平成21年度末地方債現在高

会計名	金額
一般会計	246億5,389万円
港湾埋立事業特別会計	7億7,395万円
簡易水道事業特別会計	1億6,942万円
合 計	255億9,726万円

平成21年度一般会計の主な事業

- 総務費
 - ・産業誘致推進事業…………… 1億1,280万円
 - ・定額給付金等給付事業(繰越)…………… 4億0,053万円
- 民生費
 - ・住宅用火災警報器給付事業…………… 666万円
 - ・高齢者交通費支援事業…………… 2,463万円
 - ・乳幼児等医療給付拡大事業…………… 787万円
- 衛生費
 - ・救急医療対策事業…………… 6,120万円
 - ・新型インフルエンザワクチン接種事業…………… 348万円
 - ・休日夜間急病センター整備事業…………… 7,123万円
 - ・一般廃棄物処理施設整備事業…………… 4,533万円
- 労働費
 - ・シルバー人材センター事業…………… 955万円
 - ・緊急雇用創出推進事業…………… 1,738万円
- 農林水産業費
 - ・乳牛ほ育・育成預託広域牧場建設事業補助金…………… 3,445万円

- ・緑の循環森林認証推進事業…………… 552万円
- ・立牛基幹作業道整備事業(繰越)…………… 5,570万円
- 商工費
 - ・原材料価格高騰対応等緊急保証制度保証料補助金…………… 4,342万円
 - ・生活バス路線運行維持対策補助金…………… 1,650万円
- 土木費
 - ・潮見第8号線改良舗装事業…………… 5,237万円
 - ・国直轄港湾管理者負担金…………… 2億1,590万円
 - ・広域公園整備事業…………… 6,589万円
 - ・紋別公園改修事業…………… 2,857万円
 - ・市営住宅建設事業(大山公営住宅)…………… 3億6,092万円
- 教育費
 - ・小・中学校コンピュータ整備事業…………… 5,186万円
 - ・公立学校施設耐震診断事業(小学校)…………… 3,263万円
 - ・スポーツ合宿誘致事業…………… 1,310万円
 - ・スポーツセンター改修事業…………… 1億5,428万円

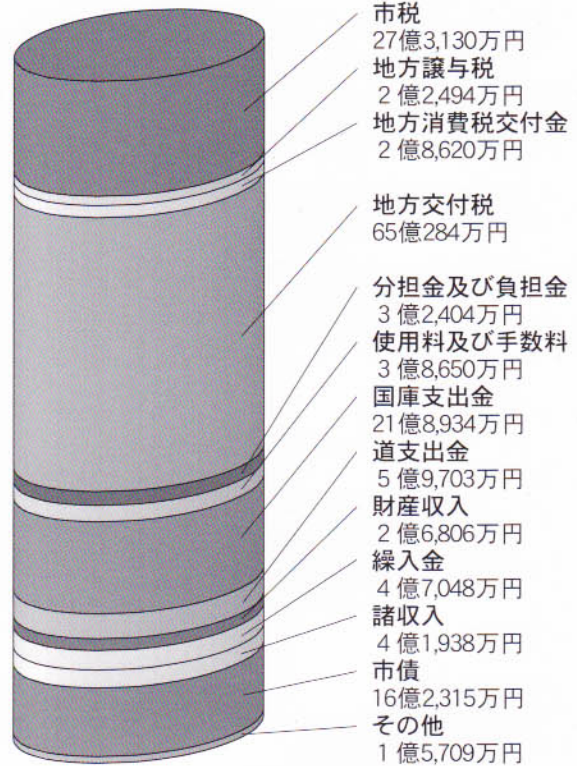
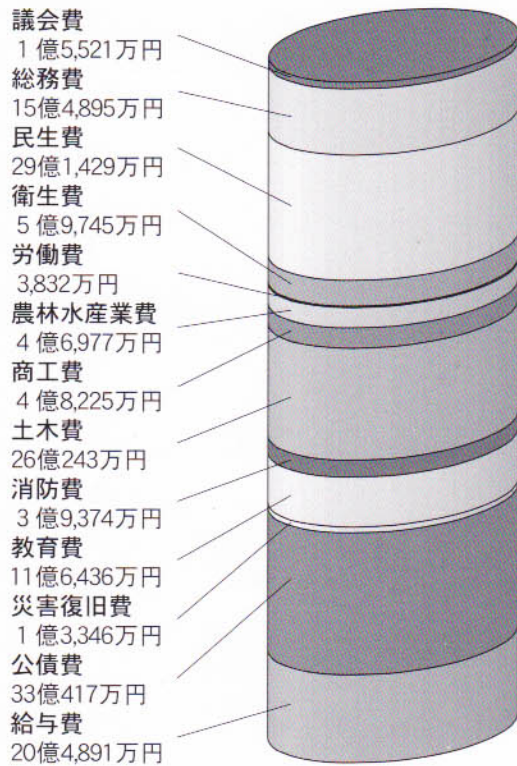
平成21年度一般会計決算状況

歳出 158億5,331万円

グラフ2

歳入 161億8,035万円

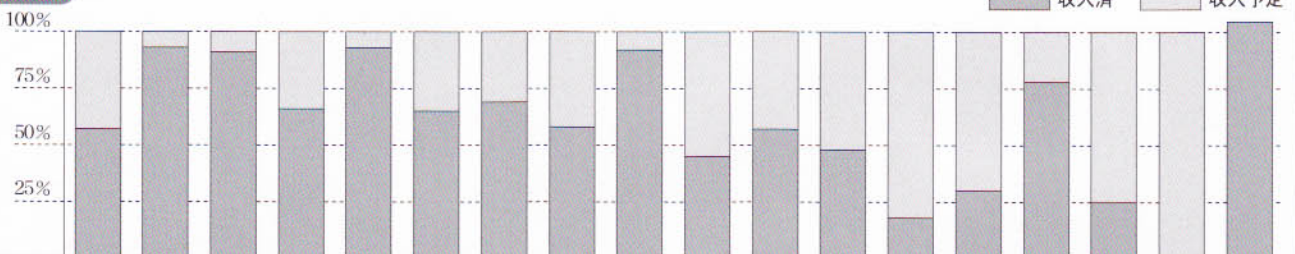
グラフ1



平成22年度一般会計予算執行状況(4~11月)

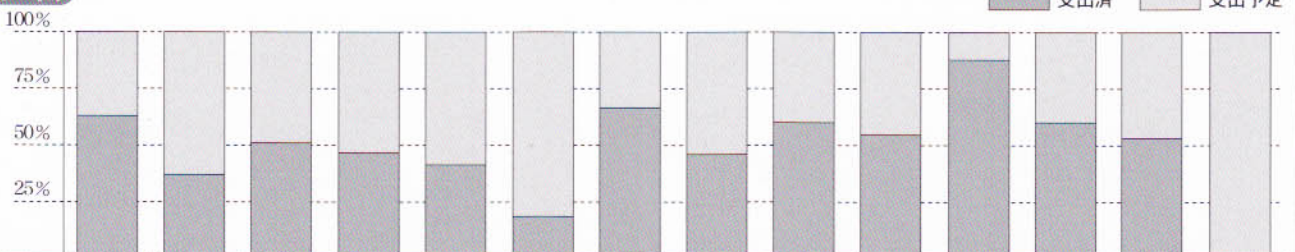
(単位: 万円)

歳入



歳入	市民税	固定資産税等	軽自動車税	市たばこ税	都市計画税	入湯税	地方譲与税	地方消費税交付金	地方交付税	分担金及び負担金	使用料及び手数料	国庫支出金	道支出金	財産収入	繰入金	諸収入	市債	その他
予算現額	118,990	99,665	4,245	23,616	16,470	206	21,328	27,870	633,000	16,969	42,203	172,767	76,326	11,360	88,737	26,672	159,207	37,483
収入済額	67,907	92,967	3,884	15,672	15,355	133	14,770	16,228	582,090	7,718	23,977	82,746	14,517	3,387	68,934	6,684	768	39,190

歳出



歳出	議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	給与費	予備費
予算額	14,803	109,792	313,902	69,199	6,928	58,393	46,399	266,009	35,644	86,620	3,869	340,746	222,310	2,500
支出済額	9,310	40,589	159,530	32,215	2,867	10,866	30,834	122,263	21,384	47,306	3,397	204,908	118,258	0

※金額には繰越額が含まれています。

平成22年度一次借入金の状況 平成22年11月までの一次借入はありません。